

2019年版
出題予想テーマ的中プロジェクト
夏の陣

リーダーズ総合研究所

村瀬仁彦

竹内千佳

山田斉明

出題予想テーマ的中プロジェクト
夏の陣
憲法&行政法判例穴埋めトレーニング

リーダーズ総合研究所

竹内 千佳

【判例】広島市暴走族追放条例事件
最判平19年9月18日

条例が憲法21条1項及び31条に違反するか

合憲限定解釈

→規制対象の限定、処罰が事後的・段階的

合憲

→目的の正当性、手段の合理性、利益の均衡

集会の自由規制条例重要判例

徳島市公安条例事件

明確性の原則

広島市暴走族追放条例事件

過度に広汎性ゆえに無効の理論
明確性の原則

行政指導と司法統制

- ☑ 取消訴訟
→原則として任意でなされる事実行為に処分性は認められない。例外：判例
- ☑ 実質的当事者訴訟
→当該指導に従う義務がないことの確認訴訟
- ☑ 国家賠償訴訟
→「公権力」性につき広義説からは行政指導も当該要件を満たす。

【判例】女性の再婚禁止期間規定一部違憲判決
最大判平27年12月16日

国会議員の立法行為又は立法の不作为の違法性

原則直ちに違法とならない
例外的場合を提示

100日超過部分は違憲であるが、国賠法上違法ではない

出題予想テーマの中プロジェクト
夏の陣
民法判例☆検索トレーニング
リーダーズ総合研究所
山田 斉明

はじめに①

問題〇 に関する次の記述のうち、〇〇法の
規定及び判例に照らし、正しいものはどれか。

テーマ

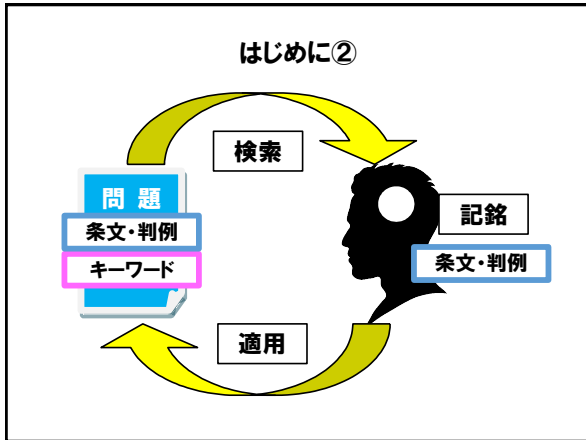
2

3

4

5

条文判例

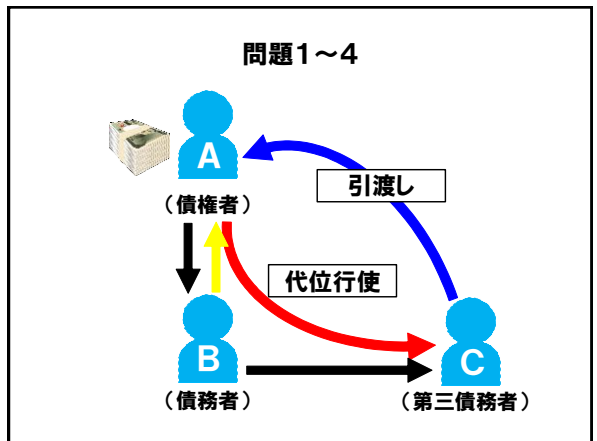


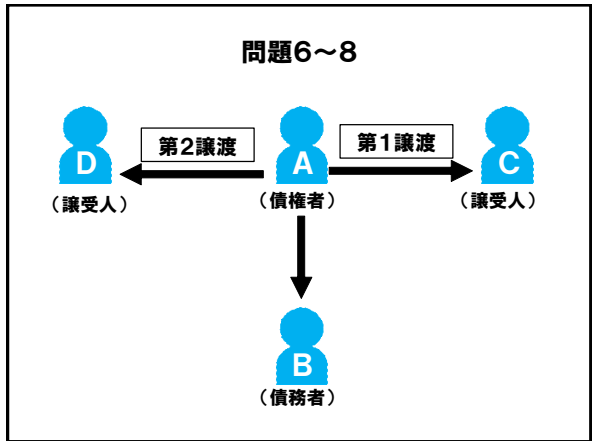
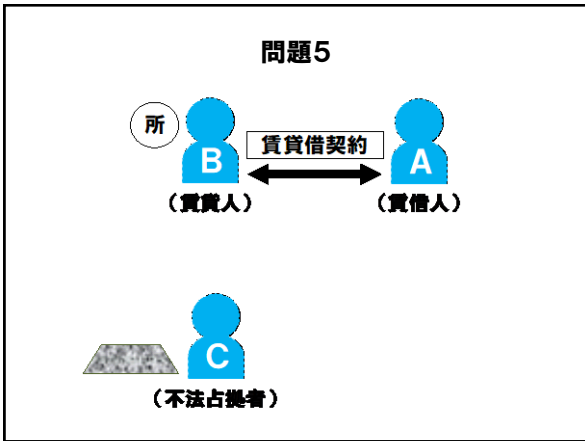
はじめに③

2017年度		2018年度
9問中6問	Aランク	9問中4問
9問中2問	Bランク	9問中1問
9問中1問	Cランク	9問中4問
個数0 組合せ3	出題形式	個数0 組合せ4
9問中8問	判例問題	9問中7問

民法 債権 出題傾向

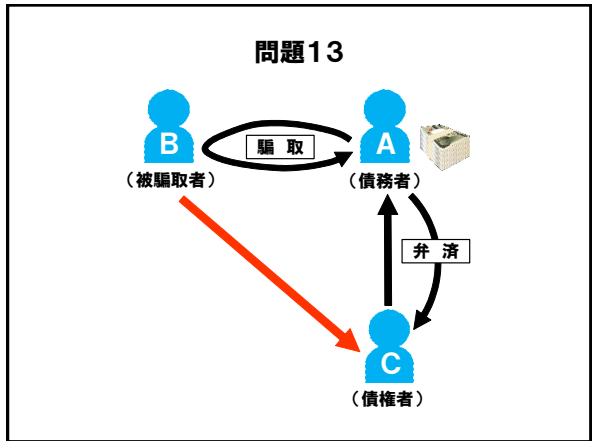
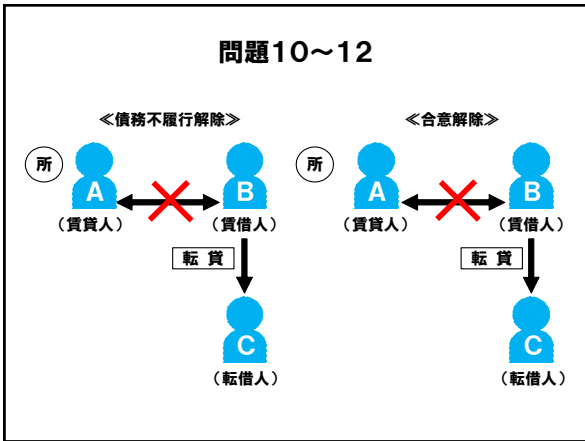
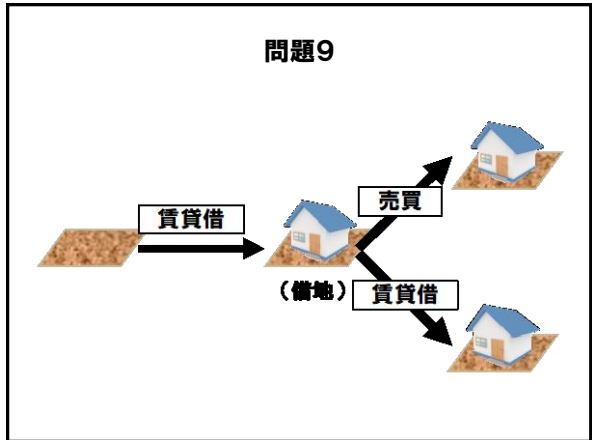
	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
債務不履行	○							○	○		
債権者代位権							○		○		
詐害行為取消権									○		
連帯債務	○	○		○						○	
保証		○	○	○			○				
債権譲渡											
弁済・相殺	○						○	○			○
契約の解除					○	○					
無償契約								○			
賃貸借契約	○	○			○	○				○	○
委任契約			○	○	○						
請負契約				○							
不法行為		○			○		○		○	○	○

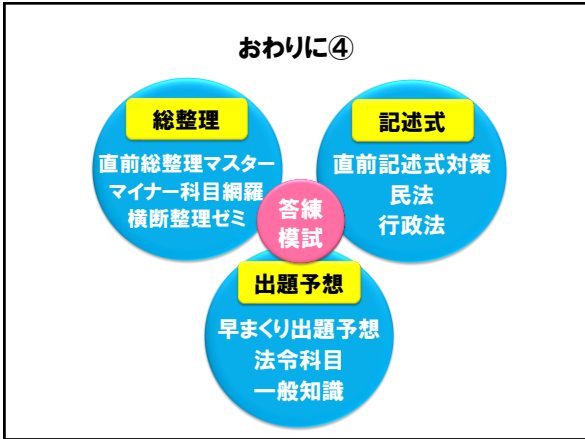
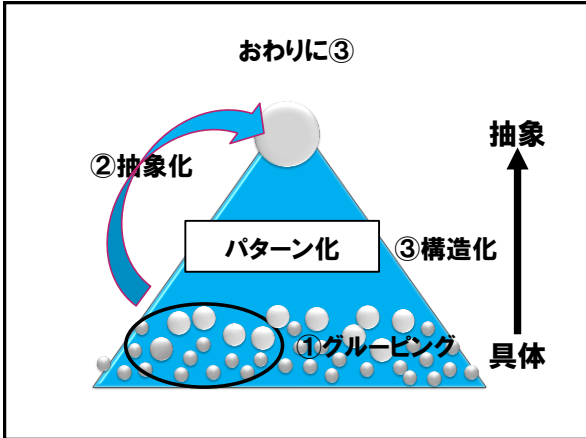
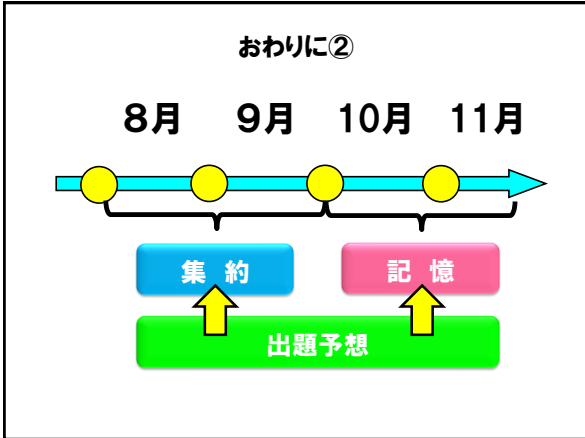
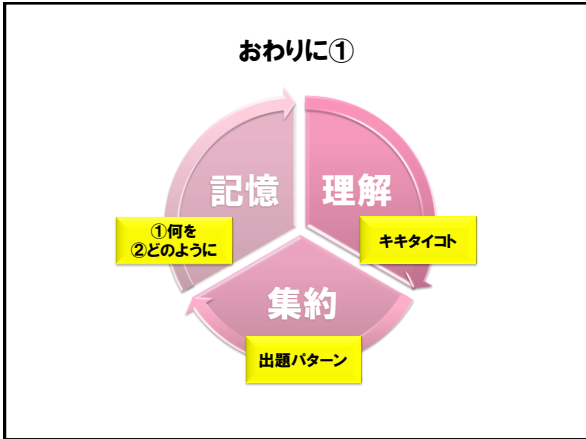
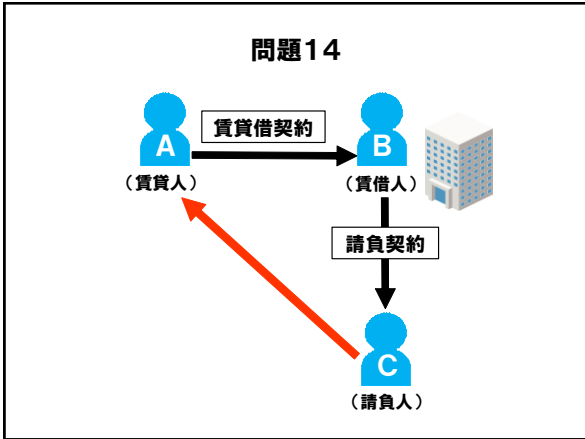




問題6~8

第2譲渡	ケース	第1譲渡
確定日付なし	ケースⅠ	確定日付なし
確定日付あり	ケースⅡ	確定日付なし
確定日付あり	ケースⅢ	確定日付あり
	異時到達	
	同時到達	





夏期特訓☆6時間で完成！特別セミナー

8月10日(村瀬講師)
行政法☆
制度と制度の比較フレームワーク20

8月11日(山田講師)
6時間で押さえる！
行政法☆重要判例分析講義

8月12日(竹内講師)
6時間で押さえる！
民法財産法重要判例